

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正な財産管理	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—			普通財産の処分(売却、解体)と公用車の適正な配置を行い財産維持管理費の削減に努める			
活動指標	指標	a 普通財産処分(売却等)による財産収入の増	b 建物解体による維持管理費の削減	c 公用車の削減と適正な配置	d 職員による市有地の清掃			
	数値	目標 30件(H22~)	目標 10件(H22~)	目標 70件(H23、H24)	目標 —			

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H23	H24	H25
適正な財産管理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 普通財産処分(売却等)による財産収入の増	件	21 件	31 件	41 件
		70.0 %	103.3 %	136.7 %
b 建物解体による維持管理費の削減	件	1 件	2 件	8 件
		10.0 %	20.0 %	80.0 %
c 公用車の削減と適正な配置	件	29 件	49 件	51 件
		41.4 %	70.0 %	72.8 %
d 職員による市有地の清掃	ヶ所	10 ヶ所	10 ヶ所	13 ヶ所
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
市有財産の老朽化による修繕や遊休地の清掃(草刈)範囲が年々多くなっている。
対応(改善点等)
用途廃止財産の公募及び解体と遊休地の売却を進め、財産管理費の抑制を図る。

5. 事業費・・・H23~H25(決算額)、H26(予算現額)

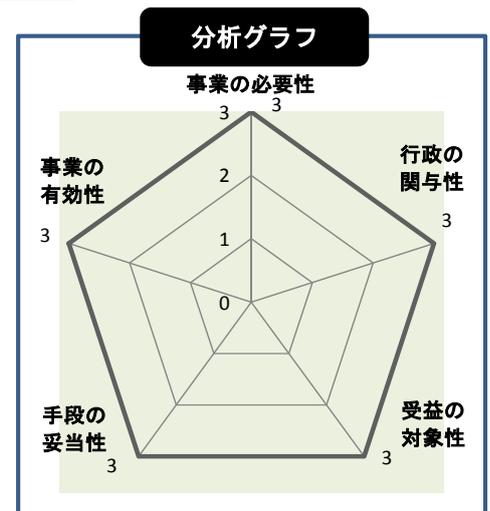
決算額(千円)	H23	H24	H25	H26	
	うち経常経費	109,314	193,522	175,333	268,043
	93,335	92,829	116,384	135,791	
財源内訳	国費				
	県費	10,991			
	市債				
	その他	12,474	14,988	16,875	23,337
	一般財源	85,849	178,534	158,458	244,706
うち経常	81,861	78,198	102,776	127,974	
事業費に係る人件費	32,035	30,056	27,112	26,125	
事業費に係る人役	7.45	7.00	6.22	5.89	

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
予算のほとんどが必要経費であるが、普通財産処分や公用車の適正な配置等により維持管理費の減額が見込まれる半面、施設等の解体工事請負費の計上により昨年並となる。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 財産管理は法令等に基づき市が行うべき事業である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により財産の維持管理、処分を実施することが定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市内全域にある市有財産管理事業である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 維持管理等の必要経費を削減するためには普通財産の処分(売却、解体)や公用車の削減は重要である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 財産処分による維持管理費削減の有効性は高いと判断できる



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、普通財産の適正な利活用を進めるとともに、財産管理に要する経費削減を図ること。